

【解説】何食わぬ顔でニュース報道されるアメリカの「連邦準備制度」(Federal Reserve System)が、いかに不健全きわまる、かつ不可侵のものであるかが、これを読んでよくわかる。このようなものは滅びるしかないとおそらく誰もが考え、現に「自由落下スピード」で滅びつつあるとウィルコックは言っている。しかし一方で「この陰謀団は今でも、我々の金融制度に対する驚くべき支配力を握っている」(“悪夢はもうすぐ終わる: Part II”)と言っているから、やはりこれが起こるには、地殻変動に相当する大異変を経過しなければならないように思える。

アメリカの反体制ジャーナリスト Alex Jones が記者会見場で、大声で「連邦準備制度を廃止したらどうですか?」と叫んで、文字通り、外へつまみ出されるユーチューブがある。いかにこれが、触れてはならぬアメリカの急所であるかがよくわかる。

水瓶座新時代「金融詐欺」

あらゆる人が知っておくべき一つの金融詐欺が、合衆国のみならず世界中の多くの国で行われている。

1905年、John D. Rockefeller, Jacob Schiff, Henry Morgan, Paul Warburg, Nelson Aldrich, その他数名がボートに乗って Jekyll 島に渡った。これらイルミナティのメンバーは、しばらくの間そこで会合し、銀行体制が合衆国のカネをコントロールできるような計画を練った。

彼らは最初「オールドリッチ計画」と呼ばれる法案をつくり、これが提出された。しかし新聞と国会の大多数が、この計画はウォール街の銀行家を利するもので、国民のためのものではないとして、これに反対した。彼らはそこで代替案を考え出し、これを「国民計画」として提出した。しかし、この国民計画も本質的にはオールドリッチ計画と同じである。この計画は「連邦準備法案」(Federal Reserve Act)と呼ばれるようになった。

1913年、最終的な法案が、クリスマス・イヴの前夜、国会議員のほとんどが、ほんのわずかな人数を除いて帰省してしまったときに国会を通過した。連邦準備制度、すなわち合衆国の中央銀行制度がそのとき誕生した。

この制度は次のように働く。政府が何の目的であれカネを必要としたとき、彼らは連邦準備銀行からそれを借りる。連邦準備銀行(Fed と呼ばれる)は、単に財務省へ行って、印刷代だけを払ってカネを印刷し、そのカネを額面通りに利子つきで政府に貸し付ける。

実は、連邦準備銀行は、私的な銀行家の所有物であって政府のものではない。1913年に可決された連邦準備法は違法であった。それは憲法に反していた。これは憲法によれば、カネの製造は国会の権限であって、他の誰でもないからである。これを無理やり通すには憲法による認可が必要になるが、現憲法にそんな条項はない。

合衆国における内国歳入庁（IRS）による所得税の徴収もまた、違憲である。所得税を取り立てる権限を国会に与えたことになっている「第16憲法修正条項」は、1913年、各州によって決して批准されていない。

その可決を望んだ代表者が国会で立ち上がって、今やっと所得税修正条項を可決した州が十分な数に達した、今はこれらの機構を合体させて、所得税を徴収しやすいようにするのが急務だ、特に今は、この国が戦争の準備をしているのだから、これは国家にとって非常に有益なやり方だ、と演説した。これを真に受けた議員たちは、税制を一体化し、IRSに税務を担当させて、人頭税または所得税を取り立てるように動き始めた。

のみならず合衆国政府は、合衆国の一部ではない「コロンビア特別区」に位置している。これはブラックの「法律事典」によれば、完全に異なった国家である。それは一つの「連邦国家」であって、「コロンビア特別区」を統治するものである。法制的に言えば、それは合衆国の他の部分に真の司法権を及ぼすものでなく、合衆国のような他国に課税する法律を通すことは、学問的・法的に間違っている。

IRSによって徴収された所得税は、直接、Fedに預金されるのであって、合衆国財務省にではない。次に引用するのは、1984年のレーガン大統領の「グレース委員会」報告の一部である――

徴収された税の100パーセントが、もっぱら連邦の負債に対する利子と、移転支出への連邦政府の出資によって吸収されています。言い換えれば、すべての個人の所得税による歳入は、税を払う国民が政府に期待するサービスには一文も使われることなく、消えてしまうのです。

Fedはこのカネを受け取って海外の銀行に送る。デラウェアで登録され、憲法に反して創られた私的な法人であるIRSは、Fedと一緒に、本質的に私的な国際銀行家たちのために動いている。

米国議会は、Fedを創り出す法律を通過させたときに、実は憲法に反することをやっていたのであり、それは違法であるがゆえに最初から無効であり、したがってこのFedを創っ

た法から始まるすべての立法は、詐欺行為である。

法に従うなら、詐欺や誤った説明、あるいは不法な活動に基づくどんな契約も、金融であれ何であれ、どんな義務も最初から無効である。ここから、アメリカ合衆国で生じた国家的負債は、無効宣言されなければならない。

正しく言えば、合衆国財務省が、政府の必要とする紙幣をいくらでも印刷すればよい。Fed の必要はないのである。

南北戦争のとき、もしリンカーンが、国家を運営するために銀行家からカネを借りていたなら、国家はもっと早く破産していたことだろう。彼はそうしないで、彼自身のグリーンバック紙幣を印刷した。そのために国家は何年も破産しないで持ちこたえた。

Fed の紙幣は、政府発行の紙幣でなく、従ってアメリカの通貨ではない。憲法によるアメリカの通貨はアメリカ・ドルであり、憲法の定義によって貴金属によって保証されている。合衆国財務省の紙幣は合衆国政府を代表するものであり、それは貴金属の担保を伴っていた。しかし Fed の紙幣は信用のみによって保証されている。1971 年に、Fed の紙幣が金本位制からはずされ、それ以来ずっと、どんな財物によっても保証されなくなった事情がそこにある。

1933 年、合衆国政府は Fed によって破産させられた。人々はこのことを知らされてこなかったが、それは人々を無知の状態に置いて、政府の背後にどんな真実があるのか、どんなふうに権力構造ができあがっているのかを知らせないでおくのが、最も重要であり、それこそが計画だったからである。

ほとんどの政治家は、Fed のインチキと、それが違法であることを知っている。しかしそれについて何かすることは彼らの利益に合わない。これは彼らが、Fed 制度やその多くの関係組織と連携して忠誠を尽くしている資金源から、多額のキャンペーン資金をもらっているからである。そのため、これら立法に携わる議員たちが、彼ら自身の利益の妨げになるようなことに肩入れする可能性はあまりないのである。

この金銭的な詐欺はカナダにも当てはまる。カナダの連邦政府もまた、カナダの銀行との取り決めがあり、そのため「カナダ銀行」は、カナダ政府の所有物であるかのような錯覚を生み出している。実際は、それは Fed と同じように私有の銀行である。

「カナダ銀行」からカネを借りることは、カナダが巨額のインチキ負債を背負いこむ原因

になっており、同じ欺瞞がイギリス、ドイツ、フランス、アルゼンチン、ブラジル等でも起こっている。

この背後にいる人々は、たいてい同じ人物であり、彼らはさまざまな国のほとんどの政府の背後で権力を握っている。あるレベルでは、これは世界の金融のほとんどを支配している、13 の有力な銀行家の家系にその始源を訪ねることができる。彼らは、Rothschild, Rockefeller, Lehman, Kuhn, Loeb, Goldman Sachs, Warburg, Lazard brothers, Israel Moses Seif, Schiff, Morgan, そして Schroeder の各一族である。

国際決済銀行（B I S、Bank for International Settlements）、国際通貨基金（IMF、International Monetary Fund）および世界銀行（World Bank）はすべて、私的な国際銀行家たちの利益に奉仕する銀行である。

もし世界中の政府が、私的な銀行からカネを借りるのをやめて、自分自身のカネを印刷し始めたら、彼らは自分たちの国を統制することができ、私的な銀行に対する負債はもはや存在しなくなるであろう。なぜなら、そのとき、すべては世界とアメリカ合衆国の人民を奴隷化するための方法であったことが、きっと分かってくるはずだから。

注：この記事の内容は、チャンネル情報から編集されたものである。